

子宮頸がん予防ワクチン について知ってください



子宮頸がんとは…？

子宮頸がんとは、子宮の頸部（子宮の出口に近い部分）にできるがんです。

日本では毎年、約1万人の女性がかかる病気で、毎年、約3,000人の女性が亡くなっています。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）人も、1年間に約1,000人います。

子宮頸がん予防ワクチンの接種状況

世界保健機関（WHO）が接種を推奨しており、日本での接種者数は徐々に増えています。

子宮頸がん予防ワクチンは女の子だけ接種するの？

男の子にとっても、中咽頭がん・肛門がん・尖圭コンジローマなどのがんや性感染症の予防効果が期待できるワクチンです。

男の子も接種することで、自分や将来の大切な家族を守ることに繋がります。

子宮頸がん予防ワクチンのリスク

接種後には接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。

まれですが、重い症状（重いアレルギー症状、神経系の症状）が起こることがあります。

* 接種後症状（重篤）の報告頻度

サーバリックスまたはガーダシル：1万人あたり約5人 シルガード：1万人あたり約2人

* 接種後の「多様な症状」の報告を受け、様々な調査研究が行われていますが、「ワクチン接種との因果関係がある」という証明はされていません。

女の子 小学校6年～高校1年相当

予防接種法に基づく定期予防接種です。

【接種費用】 無料

予防接種には接種券が必要です。

対象の方には中学1年生の春ごろ、接種券をお送りしています。転入や紛失などで接種券がない場合は、再発行ができます。

【再発行の申請方法】

●窓口の場合（当日お渡し可）

添付書類*をもって、保険健康課（市役所1階）へお越しください。

●電子申請の場合（接種券がお手元に届くまで数日）QRコードをスマートフォンなどで読み取り、必要事項を入力してください。

申請情報の確認ができ次第、接種券を郵送します。

※添付書類

本人確認書類（申請者）、母子健康手帳（予防接種のページ）の写し又は接種歴がわかるもの

- ・ご予約は直接、協力医療機関にご連絡ください。
- ・豊田市・みよし市の協力医療機関以外で接種を希望される場合は、接種前に手続きが必要となりますので、お問い合わせください。

【再発行の電子申請はこちらから】



男の子 小学校6年～高校1年相当

任意予防接種の費用を助成しています。

※令和7(2025)年度の費用助成は、
令和8(2026)年3月31日までです。

- ・接種がお済みでない方は、
お早めにご検討ください。

【接種費用】

接種費用を大幅に助成しています。

比較的少ない自己負担額で接種できます。

【申請・接種方法】

- ①ご予約は委託医療機関にご連絡ください。
- ②当日、医療機関の窓口で申請書を記入の上、予防接種を実施します。接種後、医療機関が設定した金額から市の助成額を差し引いた金額を医療機関窓口でお支払いください。



【詳しくはこちらから】

【問い合わせ】みよし市保険健康課

電話 0561-76-5880

ファクシミリ 0561-34-3388

電子メール hoken@city.aichi-miyoshi.lg.jp